

皆さんおはようございます。

生徒の皆さんはそれぞれ進級し、新年度が始まりました。いつもの学期始めとは異なり、4月から始まる新学期は、年度が変わる節目として格別の思いがあります。

今年の第76回入学式には172名の新入生を迎え、長野中学校の仲間入りをしました。入学式前日には、新3年生の皆さんに入学式の準備を手伝ってもらい、スムーズな入学式が執り行えました。恒例となっている新入生を迎える準備を在校生が整える事で学校は成り立っています。毎年、立派な入学式ができるのも伝統の一つです。新入生と2・3年生を合わせた全校生徒は509名となり、教職員の先生方も合わせて559名で長野中学校はスタートを切りました。

さて、2・3年生の人は今日クラス発表がありました。新しい仲間と新しい先生方との出会いがあり、また、他の学校へ転勤された先生方もおられます。今日から先生方の指導のもと、新しい仲間と切磋琢磨しながら長野中学校の歴史を創ってほしいと思います。楽しい学校生活を送るために皆さん一人ひとりの活躍が期待されます。

常々思っている私の個人的な見解ですが、長野中学校の生徒は大変能力が高いと思っています。特に潜在能力の高さを感じます。潜在能力とは、他の人がその能力に気がつかないのももちろんですが、本人にも自覚がない能力のことをいいます。潜在能力が高い人の特徴を少し紹介すると、「好奇心旺盛である」「素直な性格である」「我慢強く努力を続けられる」などがあります。皆さんはどうですか。当てはまる人は多いのではないですか。しかし、その能力が埋もれていては何にもなりません。自分が持っている潜在能力を引き出すためには、「人のアドバイスをしっかりと聞く」「新しいことに積極的にチャレンジしてみる」「一流のものに触れて高いところから物事を考える」などがあるそうです。皆さんもどれか一つ潜在能力を引き出すためにやってみませんか。今までと違う自分を発見するかもしれません。

先ほども少し触れましたが、中学校生活を楽しくするためには、何事もやらされてはいけません。自分から進んで行動することにシフトしてください。勉強やクラブ活動でもやらされている時ほど嫌でしんどいことはありません。勉強がもっとできるようになりたい。クラブでもっと強くなりたいと思っている人は、一流といわれている人の真似をとことん突き詰めることから始めましょう。最初からできる人はそんなにはいません。一流といわれている人は、他人の何倍もの努力や練習を重ねてその域に達しているのです。練習問題の1問、ボールの1投、スタートなど、一つひとつを疎かにせず努力していきましょう。

長野中学校の歴史を創ってほしい。潜在能力のこと。自ら努力することなどを話しましたが、最後に、私から日常生活で心掛けてほしいことを3つお話しします。

- 1つは、誰に対しても丁寧な言葉使いを心がける。
- 2つは、素直な心持ちでいつもいてほしいこと。
- 3つは、最後まであきらめずに努力することです。

この3つを心掛けて伝統ある長野中学校の歴史を創っていきましょう。皆さんの活躍に期待しています。